

第3號

昭和30年11月25日発行



發行所 高萩市役所 編集 農林課 印刷所 藤枝印刷所

新市一ヶ年の回顧

高萩市長 小峰 威夫

政府の方針である合併促進法の趣旨に則り旧三ヶ町村が合併して新市の誕生をみたのは...

大凡新市建設の偉業の成否は一にその根源たる財源の充足如何にかかっている事は御承知の通りである...

國勢調査による

高萩市の人口

十月一日を期して全国一齊に行われた昭和三十年國勢調査は市内調査員一三八名の絶大なる御盡力によって...

Table with 5 columns: 地区別, 総数, 男, 女, 世帯数, 人口密度 (1平方キロ). Rows for Takahagi, Matsuyama, and Takahagi.

Table with 2 columns: 本市の面積 (単位平方キロ), 面積. Rows for Takahagi region, Matsuyama region, Takahagi region, and Total.

は一平方キロ当り一五八八人である。 総人口 三、〇二二人 世帯数 男 一五、三五九人 女 一五、六六二人 六、二九九

市制施行一週年に思う

高萩市議會議長 舟生 一郎

高萩市制施行以来もう一週年を迎えようとしています。この一年の才月も長くもありませんが合併の功罪を論ずるには余りにも短かすぎます...

よりよい食生活のために

食生活モデル部落の状況

食生活の習慣はなか／＼変えて見るとエネルギー源として、カロリは大体満足できる程度摂取しているが...

これはこれまでに認識を高めた又農村のすみずみまで実行させることが出来たこと...

昭和二十六年四月よりモデル町に指定されて新生活運動の事業は一段と進め

から優秀部落として指定したことは生活改善紙に既に周知の事と思ふ。

下手細町第一生産組合は戸数 二〇戸 人口 一一五人 生産額 二〇〇石...

これは、栄養三食運動の徹底であるが参考までに栄養三食運動を説明してみれば、食品を赤、緑、黄の三色であらわし、これを毎日必ず喰べようという運動で...

食生活と「さんま」

栄養のあるよい食事！それは、栄養の正しい知識を毎日の食事にとり入れていくことです。

最後に「さんま」の代表荒川千代さんは、無駄を省くとか期間励行とか云うことばかりが新生活ではない、勿論時間励行も、無駄を省くことも大切には相違ない。しかし日本には困難な仕事が増えている。これからは困難な仕事に耐える強健な体でなければならぬ。一人一人が体も丈夫になり、二人分も三人分も働く、そして一日も早く日本を復興させることも新生活運動の大きな役割である。一健全なる体に健全なる精神が宿る一健全なる体を造ることは食生活改善が根幹ではないだろうか。高価なものばかりが栄養あるものとは限らない。三食揃った栄養食を平均的に摂取するよう市民の主婦達も殿方が丈夫な体で各々の職場で働くことが出来たら生活も豊かになり幸福な日々を送ることが出来ると思ふ」と語った。(編集部)

Table with 3 columns: 種類 (種), 蛋白質 (蛋白), カロリ (カロリー). Rows include さんま (百匁), 卵 (一個), 牛乳 (一合), 豚肉 (七匁), さんま (一匁).

このように「さんま」は栄養価も高く価格は安いのですから、いろいろに調理を工夫してどっさり摂って、栄養価の豊かな食生活を行

- ① さんまの糠漬 ② 用意した樽へ三合の塩をまきながら漬け込み ③ 炒った糠一升と塩一升を良くまぜる ④ さんまの味噌漬

新生活みてある記

波崎町公民館

第四回新生活モデル町村の表彰された波崎町公民館は、茨城県東北端に位し、利根川の川口をへだてて、千葉県銚子市と対峙して、殆ど漁業を主とする町で、封建的生活が強く町民は、知識程度、文化程度は高くない。漁民特有の気質により無計画な、いわゆる宵越しの金は持たないでたんん振りを大漁のときは、生活費を補充する以外は無駄な支出が観念的に通例となつていた。

しかも、波崎町には文化施設が少くこれらの人々が或る時は清遊を求め、或る時は酒に親しむ場合など、その殆んどは川を渡つて銚子市へ流れ込む風習があつた。その他結婚、七五三、節句、その他各種行事にかける費用は、この町特有の格式を重んじ、仁義の気風を強く表わし、莫大な費用に苦しむことを余儀なくされ、利別的な亭楽と、投げやりな生活が、この町の氣質をよく現していた。

そのもつとも特筆すべき改善は結婚、生活行事、その他宴会の合理化である。結婚は？
今では公民館形式として県下各地の話題を呼んでゐる形式の道を拓いた先導者となつたが、その事例（実質利用回数）こそ少ないが県内に先がけて、その事例を創り挙げた努力は大いに買われてよい。その他七五三三月、五月の節句、敬老会、町民運動会等を合理的にして、科学性をもつた計画と、その実績の大きいことは、宴会（各種会合）の公民館利用が、活潑になり過ぎ（公民館が「料亭」と化す）との諷口も、洗殺してしまふ程の力があるとみててよい。「従来の婚礼は、非常に封建的で、身分不相応な衣類の調度や、過分に盛大な披露宴を催して、多額の経費を支出してきましが、簡素で厳粛な新らしい結婚方式に改めることはとりもおおさず、大波崎町建設の基礎たる生活改善の一つとして最も肝要なることと、信じます。」と云うこととで、次のことを実施して挙式について
これまでの式は形式的で、無駄が多いので公民館では新時代にふさわしい様式と結納

結納は結婚成立のしるしであるので金額より精神を重視した。

調度品
なるべく、簞笥一棹、夜具一組とし、付属品は最少限度に止め、衣服は平常着に重点をおく。

結婚式
簡素にして敬肅を旨とし、式と合同祝儀で、参列は双方の近親者にとどめる。

披露宴
華美に流れず、新生活の前途を、祝福する程度に止める。

- 公民館結婚式次第
 - 一、開式のことば
 - 一、館長お祝のことば
 - 一、誓の詞（新郎代表）
 - 一、契の盃（新郎新婦）
 - 一、結婚署名（〃）
 - 一、一同乾盃
 - 一、町長祝辞及記念品贈呈
 - 一、閉式のことば
 - 一、閉式時間約五十分、式後十分休憩
 - 一、披露宴 約一時間
- 利用者は挙式一週間前に連絡する。これらのことは公民館生活科学部で行うことになつており衣袋の着付、挙式、記念写真、披露宴等一切行いこの総経費は金九千九百円である。
- 更に衣生活、食生活、環境の衛生の改善に至る迄、町民ががっちり手を組んで、一步一步地道に新しい道を歩み続けている。このながら、よくこゝまでやれたものと深い尊敬の念

が起きるとともに、今後とも仲よくがっちり各種の事業に協力して、自らのよ

太陽熱の利用について

終戦以来燃料の節約を目的として全国的にカマドや風呂の改善が行われてきたが、わが国が現れてきたとまだ、燃料の節約は強化されなければなりません。それには太陽熱を利用するのが一番近道なのではないでしょうか。

前記の趣旨から光熱消費合理化運動の一環として、サンヒート（太陽熱利用湯沸器）をとり上げその普及に乗り出した。県で推奨するサンヒートは農業試験場多年の研究によるもので、性能、製造価格の点からいって他を凌ぐ優秀な器械です。

次にサンヒートを使った場合の利点とそのもたらす効果について述べてみましょう。

太陽熱は一年間に約五割以上も利用出来る機会に恵まれており、その熱も意外に強く、一坪当りに受ける熱は一石の水を一時間に一〇度だけ上げる事が出来ます。また太陽熱は雨の日以外は曇の日でも利用出来ますから、従来の燃料の三〜四割で充分間に合います。

りよい幸福な生活を、かちとつて行つてほしいものと思ふ。

また、燃料の面でこのように節約されるばかりでなく風呂焚きの労力もこれに比例して軽くなり、その他燃料の伐り出し、運搬、調整や掃除、管理等の間も省けますからとても重宝です。次第では簡単な装置は工夫出来ますし、また農山漁村のように空気の澄んだ日当りの良い所では特に利用価値があります。そのほか、洗濯用、酪農用早生野菜類の灌水と利用面は広範囲です。

従つて、太陽熱は大いに利用すべきで、それによつて森林資源保護の因策に協力することも一家の経済上からも是非生活のために入れてほしいものです。



○市制最初の議会議員及び教育委員選挙もまた近頃ない公明選挙であつたことは新高萩市の正しい政治に向つて歩を進めたものとして御同慶に堪えない。

○新生活も理論の段階を経て既に実践に入つてゐると存じますので皆様方がこうゆうことを、こうゆうふうりに改善し実行してゐると云つた体験記事を遠慮なく御投稿の上、本紙を通じてお互に反省し批判しあつて幾分でも向上の資ともなれば幸せである。

○御寄稿いただいた短編小説をペンネームでの要望もありましたが市の弘報紙でもありますので本名にいたしましたところ拙い作でと恐縮がっております。公明選挙が行われた直後でもあり、そうした内容を多分に盛つた沼田さんの意図を吸みとつて載ければ幸甚です。

○月々貴重な原稿をお寄せ下さいました方々に厚く御礼申し上げますと共に紙面の都合で次号に掲載することもありませんので御了承願います。

（編集部桐谷）